

2 建築関係訴訟事件の終局区分別既済件数及びその割合

(平成16年4月～平成27年)

年		区分	判 決	和 解	請 求 の 放 棄	請 求 の 認 諾	取 下	その他	計
平成 16年 (4月～)	建築請負代金等	件数 比率	607 35.4	709 41.4	0 0.0	11 0.6	326 19.0	60 3.5	1713 100.0
	建築瑕疵損害賠償	件数 比率	147 32.3	152 33.4	0 0.0	1 0.2	135 29.7	20 4.4	455 100.0
平成 17年	建築請負代金等	件数 比率	781 37.3	899 42.9	1 0.0	12 0.6	346 16.5	57 2.7	2096 100.0
	建築瑕疵損害賠償	件数 比率	211 37.1	174 30.6	0 0.0	1 0.2	170 29.9	12 2.1	568 100.0
平成 18年	建築請負代金等	件数 比率	786 34.9	977 43.3	2 0.1	16 0.7	407 18.0	67 3.0	2255 100.0
	建築瑕疵損害賠償	件数 比率	195 31.5	221 35.6	0 0.0	2 0.3	187 30.2	15 2.4	620 100.0
平成 19年	建築請負代金等	件数 比率	790 37.2	831 39.1	3 0.1	20 0.9	430 20.2	52 2.4	2126 100.0
	建築瑕疵損害賠償	件数 比率	191 31.2	196 32.0	1 0.2	1 0.2	201 32.8	22 3.6	612 100.0
平成 20年	建築請負代金等	件数 比率	877 37.3	957 40.7	1 0.0	20 0.9	425 18.1	72 3.1	2352 100.0
	建築瑕疵損害賠償	件数 比率	194 33.3	192 32.9	2 0.3	1 0.2	176 30.2	18 3.1	583 100.0
平成 21年	建築請負代金等	件数 比率	917 38.7	915 38.6	3 0.1	20 0.8	440 18.6	76 3.2	2371 100.0
	建築瑕疵損害賠償	件数 比率	204 33.6	188 30.9	1 0.2	4 0.7	192 31.6	19 3.1	608 100.0
平成 22年	建築請負代金等	件数 比率	789 37.6	870 41.4	3 0.1	16 0.8	366 17.4	57 2.7	2101 100.0
	建築瑕疵損害賠償	件数 比率	186 34.3	168 30.9	2 0.4	0 0.0	169 31.1	18 3.3	543 100.0
平成 23年	建築請負代金等	件数 比率	729 40.7	732 40.9	1 0.1	7 0.4	284 15.9	37 2.1	1790 100.0
	建築瑕疵損害賠償	件数 比率	190 42.1	156 34.6	0 0.0	1 0.2	92 20.4	12 2.7	451 100.0
平成 24年	建築請負代金等	件数 比率	674 38.0	726 41.0	4 0.2	10 0.6	291 16.4	67 3.8	1772 100.0
	建築瑕疵損害賠償	件数 比率	139 30.9	163 36.2	0 0.0	0 0.0	128 28.4	20 4.4	450 100.0
平成 25年	建築請負代金等	件数 比率	659 40.9	646 40.1	1 0.1	6 0.4	249 15.5	50 3.1	1611 100.0
	建築瑕疵損害賠償	件数 比率	172 38.8	149 33.6	1 0.2	1 0.2	102 23.0	18 4.1	443 100.0
平成 26年	建築請負代金等	件数 比率	564 37.7	618 41.3	4 0.3	10 0.7	250 16.7	49 3.3	1495 100.0
	建築瑕疵損害賠償	件数 比率	142 33.6	144 34.1	2 0.5	0 0.0	121 28.7	13 3.1	422 100.0
平成 27年	建築請負代金等	件数 比率	493 32.5	694 45.7	1 0.1	6 0.4	267 17.6	57 3.8	1518 100.0
	建築瑕疵損害賠償	件数 比率	136 30.5	162 36.3	0 0.0	0 0.0	131 29.4	17 3.8	446 100.0

(注)

- 1 建築関係訴訟事件は統計上、建築請負代金等事件と建築瑕疵損害賠償事件の2類型に分類される。
- 2 建築請負代金等は、建物建築に関する請負代金、工事代金、設計料、報酬金等を請求する事件をいう。建築瑕疵損害賠償は、建物建築に関する設計、監理、施工等の建築瑕疵を理由とする損害に関する事件をいう。
- 3 本表の基礎となる事件数は、地方裁判所民事第一審のものである。
- 4 比率については、小数第二位を四捨五入している。